



薬局は まちの保健室

育児と健康をサポートする 薬剤師の仕事

私たちの身近な存在でもある薬局。薬局とは薬剤師が常駐しており、薬局だけが処方箋に基づき調剤する「医療用医薬品」や「薬局製造販売医薬品」を取り扱うことができます。

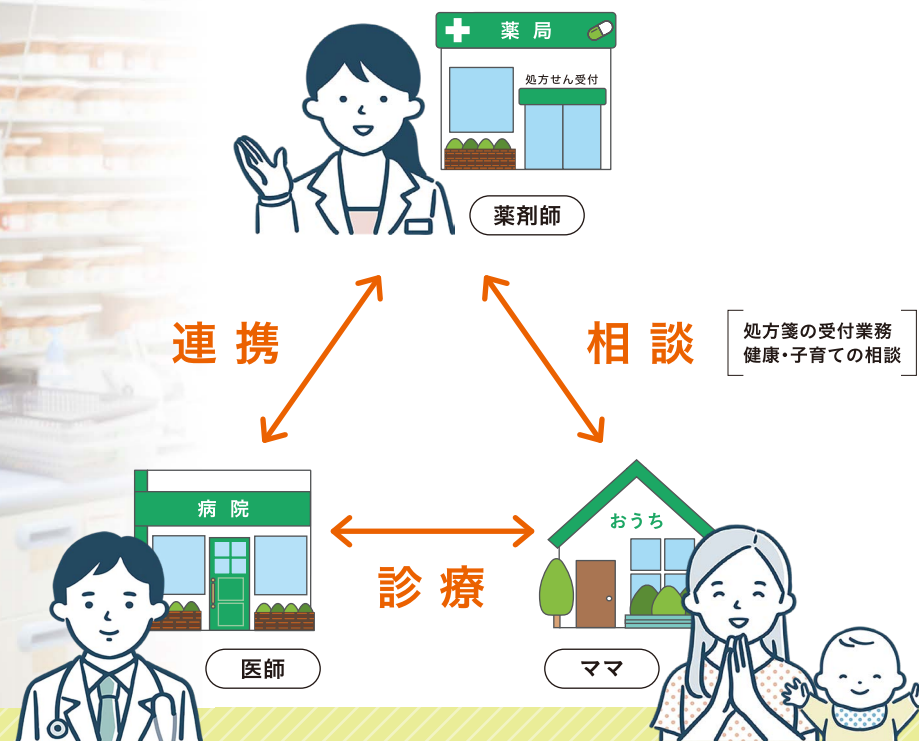
薬局は処方箋を出して薬を受け取る窓口と
思っている方も多いのではないのでしょうか？
実は、薬局で対応してくれる薬剤師の皆さんは
健康相談を受けたり、時には子育てのアドバイ
スを行ったりと、私たちの暮らしにおいての
「育児と健康のサポーター」でもあります。

今回は、豊橋市薬剤師会の女性初の会長・石黒
佳子さんに、薬剤師のお仕事のことや今取り組
んでいることなどについてお話を伺いました。



一般社団法人 豊橋市薬剤師会 会長 石黒 佳子さん

「あなたのまちのかかりつけ」を軸に、地域の人たちの健康な生活の向上を目的とした豊橋市薬剤師会の女性初の会長



「妊婦・授乳サポート薬剤師」が ママの悩みをサポート

薬剤師の仕事について教えてください

+ 薬剤師とは、医療機関（病院）の処方せんを基に、調剤や患者さんへの薬の説明をし、医療用の医薬品や一般医薬品を販売します。薬を出す際には薬剤師が「どんな症状なのか？」を再度聞き、過去にどんな薬を飲んでいたのか？飲み合わせは悪くないのか？など確認をしながら薬を出しています。

その他にもさまざまな業務があり、各医療機関や介護施設と連携を取りながら市民館で健康講座や健康イベントの開催、介護の方に向けた在宅訪問も行っています。2009年からは「妊娠・授乳サポート薬剤師」として、妊婦や授乳中の薬に関する相談を受けている薬局もあります。



「妊娠・授乳サポート薬剤師」とは？

+ 2009年に愛知県薬師会が、妊婦や授乳中の方でも薬の適切なアドバイスができるようにとしてスタートしたのが「妊娠・授乳サポート薬剤師」です。「妊婦中なのに薬を処方されたけど飲んで大丈夫？」「妊婦中や授乳中は薬が飲めない」と不安になる方も多いかと思えます。妊婦中や授乳中の薬服用に関しては慎重に行わなければなりません。危険性が認められているものはごく一部の薬のみ。多くの薬は心配しなくても大丈夫です。

花粉症や風邪をひいてしまった妊婦さんや授乳中のママは、正しい知識を持ち合わせた薬剤師に相談してみてください。豊橋市内では14の薬局が「妊娠・授乳サポート薬剤師」が在籍しています。このステッカーを貼っている薬局が目印です。

このステッカーが目印！



妊娠・授乳サポート薬剤師 が在籍する薬局（豊橋市）

薬局名	住所	電話番号
エムハート薬局とよはし店	豊橋市牟呂町西明治源助堀6-6	☎ 0532-34-0561
かもた調剤薬局	豊橋市東橋良町23-1	☎ 0532-38-8033
キョーワ薬局緑ヶ丘店	豊橋市忠興2-14-17	☎ 0532-39-4871
ココカラファイン小鷹野薬局	豊橋市西小鷹野2-1-1	☎ 0532-69-1330
スギヤマ薬局舟原店	豊橋市舟原町174	☎ 0532-21-7161
たかやま調剤薬局	豊橋市飯村町字浜道上2-1	☎ 0532-69-3535
豊橋東部調剤薬局	豊橋市飯村北3丁目14-3	☎ 0532-64-0225
豊橋市保健所健康政策課	豊橋市中野町中原100	☎ 0532-39-9101
ハーブ薬局大清水店	豊橋市南大清水町富士見754-3	☎ 0532-25-2551
ハーブ薬局牟呂店	豊橋市牟呂町字大塚86-5	☎ 0532-44-1212
まんてん薬局	豊橋市牟呂町東里61-2	☎ 0532-43-5111
ゆたか調剤薬局	豊橋市向山台町8-6グランビスタ向山	☎ 0532-55-1440
タートル薬局	豊橋市西幸町字笠松32-1	☎ 0532-39-5115
大井薬局豊橋やよい店	豊橋市弥生町字中原71-2	☎ 0532-39-9101



愛知県内の薬局一覧は
こちらから

愛知県薬師会 HP
妊娠・授乳サポート薬剤師名簿





他にも、ママたちからよく受ける相談は？



特に相談が多いのは、「子どもが薬を飲むのが苦手でなかなか飲んでくれない」という悩みです。私たちが伝えているのは粉薬の場合は、少し水で練って口の中に入れたり、アイスクリームと合わせて飲ませても良いですよと伝えていきます。ジュースと一緒に飲んでしまうと、飲み合わせで薬が苦く感じたりするので注意が必要です。

また、高熱を出したお子様の坐薬がなかなか入れられないといったお悩みも聞きます。その場合はお子様を仰向けではなく、横に寝かせてあげて、足

を曲げて坐薬を入れるとスムーズですよと教えています。入れる際は、少しだけ坐薬を水で濡らすと、薬が溶けて入れやすくなります。

薬局に来る際は、お薬手帳を持参の上お越しいただくのがベストです。私たち薬剤師がお薬手帳を見る際には、お子様が体調を崩した際に過去どんな症状だったのか、どのような薬を出したかなどを振り返っています。お薬手帳の必要性がわかったのが東日本大震災の時。すべて医療機関が止まり、カルテも無くなったことがありましたが、お薬手帳に貼っ

ている薬の情報で今の状況やスムーズに薬を出すことができました。スマートフォンアプリも便利ですが、紙としても必ずご自宅に保管しておいてください。



気軽に立ち寄れる場を目指す。

薬局は病院やクリニックにかかった後に薬をもらいに行くだけの場所だと思っていました…



私が子どもの頃は、町の薬局があり、身体に不調や不安があると立ち寄り相談するというのが当たり前にありました。「風邪をひいたけど、どの薬がいい?」「身体に不調がある」といったような悩みを一つひとつ聞きながら、薬を出してくれました。それが時代とともに変わり、今ではドラッグストアやインターネットでも薬が買える時代になり、病院の処方箋を受け付ける〓薬局というイメージになって

しまいました。しかしこれからの時代、昔のような町の薬局に立ち返るのが私たち薬剤師の使命だと思っています。顔が見えて話をすることで、何がその方に必要なのかわかります。普段からなんでも相談できる「かかりつけ薬局」を決めておく心安いです。薬剤師が症状に合わせて適切な市販薬を選ぶお手伝いもできます。調子が悪い時は病院に行く前に薬局に気軽に立ち寄ってもらいたいと思っています。

ママゴン読者に向けてメッセージをお願いします。



妊婦さん、授乳中のママ、子育て中のママたちは、お子様や家族の体調、自分の身体のこと、「どうしよう」と悩むことも多いと思います。困った時は、まず近くの薬局に気軽に足を運んでください。もちろん電話でも構いません。何に困っているのか、不安なことなど薬剤師がママに寄り添いな

から話を聞き、サポートさせていただきます。育児と健康のサポーターとして、相談してもらえると嬉しいです。

